

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 6 時 30 分～8 時

【会 場】麻町児童センター

【対象地域】麻町全地域

【出席者】22 人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
建設水道部	今回の台風で避難勧告などが出されたが、河川の浚渫などの整備は行われるのか。	【市長】金山ダムの放水により、空知川が増水しヌッカクシ・ベベルイ・富良野川に逆流する状況が見られた。河川を浚渫するか堤防を高くするかという議論はあるが、今回は国や北海道に対して浚渫していただくよう要請していく。大沼や鳥沼地域は土地が河川より低いため、樋門を閉めることにより周辺の畑などに水が停留した箇所があり、他の地域からも排水ポンプの設置の要望があることから計画的に整備していく。
建設水道部	東小学校付近の北 1 号川に土砂が堆積している。整備すべきと考えるが。	【建設水道部長】北海道に対して早期浚渫を要請していく。 【副市長】昨年も草がたくさん生えているという話もあり、北海道に要請をしているが、今回の台風被害を踏まえ、北海道に対して強く要請していく。
建設水道部	今回の河川の状況は柳の木にいろいろな物が引っかかったことが原因ではないか。富良野高校の裏手側や西達布川にもたくさん生えている。切ることはできないか。	【建設水道部長】大きいもので一抱えする柳の木が立った状態で流れていた。そういったものが引っかかり、ダムのような状況を作り、周辺の道路や畑に水があふれた。国や北海道の河川については要請していく。
保健福祉部	人口減少問題は難しい面があるが、特に高齢者が増えていく中で、長年住んでいて良かったと思えるまちにするための民生委員の人数が少ないのではないかと。民生委員も特に若い女性が増えれば高齢者も安心して暮らせると思うが。	【保健福祉部長】地域に密着している民生委員の活動は重要なものであり、任期は 3 年で現在富良野市では民生児童委員を合わせて 54 人で構成されている。課題としては担い手がいない状況であり、今後は地域のコミュニティの中で支える状況が必要になってくると考える。また、民生委員の活動の中で、現地域の高齢

<p>保健福祉部</p>	<p>民生委員の改選時期で、各町内会などでは担い手について話し合われていると思うが、どこの地域も人選に苦慮している。現職も辞められない状況であり、高齢化も進む中で地域性を考慮した民生委員の配置はできないものか。</p>	<p>者をつなぐ「支え合いマップ」を作成しており、今後は日常的に隣近所で支え合うことが大切になってくると考えている。行政が一人ひとりを見守ることは困難であり、これからは民生委員だけでなく、地域の方々や自主防災組織などにも活動を支援していただきたい。</p> <p>【市長】民生委員は、これまで主に生活困窮者に対する活動であったが、近年は一人暮らしの高齢者や障がい者への支えも必要となってきた。しかし、個人保護法の壁があり民生委員も積極的な活動ができない中、高齢の単身者などが増え続けていくことが予想され、今後は町内会で支え合う状況づくりが必要になっている。このような活動に対しては、市から町内会に活動費を助成することも必要になると考えている。町内会で見守る状況ができるよう、市の職員も町内会の一員として活動する必要であると考えている。</p> <p>【副市長】コープのトドックなどで見守りをする協定を結んでいく方向で話を進めており、今後はいろいろな形で広く見守りができるよう市としても対応していきたい。</p> <p>【保健福祉部長】農村地域は担当する区域が広く、市街地域に対して配置している民生委員の人数は少ない状況である。大沼・東雲町地域においては、農村地域からの民生委員が担当いただいているが、東雲町については若い人方が多く住んでいる地域で、民生委員として日常的に活動できる人がいない状況であるため、民生委員の活動を町内会でも協力していただけるようお願いしている。また、基準では民生委員1人が抱える世帯は概ね150世帯程度である。</p>
<p>総務部</p>	<p>町内・区会長は地域に誰が住んでいるのか把握できない状況があ</p>	<p>【総務部長】現在、住民情報を教えることはできないが、災害時</p>

	り、災害や独居老人が増える中、行政が把握して対応すべきと思う。	の要援護者については各町内・区会との覚書を交わすことで情報を提供することは可能である。また、市役所窓口においては転入者に対して、町内・区会長への情報提供を了解していただいた方については、随時町内・区会長へ転入者の情報を提供している。
保健福祉部	民生委員の活動に対する待遇が安いのではないか。	【保健福祉部長】民生委員は国・北海道・富良野市から委嘱され活動している。国の制度においては無報酬による活動が原則であるが、市の調査などに関わる費用弁償として平成27年度からは月額6,500円を支給しており、他の市町村と比べても富良野市は平均的な金額となっている。
建設水道部	麻町地域は公営住宅が多いが、今後の建設などの予定を知りたい。旧麻町保育所跡地に市営住宅ができると聞いたが、麻町地域はふれあいサロンなど、児童センターを中心に活動しているので、目の前に公営住宅が建つと、活動しにくくなる気がする。また、児童センターもコミュニティの拠点として地域で利用しているが、老朽化が激しく、今後どのような利活用を考えているのか。	【建設水道部長】土地の利用については、富良野市住生活基本計画推進会議において協議しており、旧麻町保育所跡地には来年度に1棟12戸の市営住宅の建設を予定している。本来であれば北麻町団地のある場所に建てることになるが、現入居者の移転が難航している状況である。児童センターについては、土地利用や建替え計画も含め検討中である。
建設水道部	麻町児童センターは、現在ふれあいサロンなど地域で使用する頻度が多いため、建替える場合は現在場所に建ててほしい。	【建設水道部長】旧麻町保育所の跡地利用は決定しているが、他の土地利用地も含め、地域と話し合っていていきたい。
教育委員会	東小学校のグラウンドは、運動会の100メートルコースが取れないとの話を聞いた。現在ある市営住宅の敷地に広げることができるのか。	【学校教育課長】市営住宅の建て替え状況及び北麻町地域全体の土地利用の状況を踏まえ、検討していきたい。
建設水道部	鳥沼公園入口近くの老朽化したバスは見栄えが悪い。何とかならないか。	【建設水道部】民地にあるものなので、行政ではどうすることもできないが、持ち主に話をしていきたい。